

# 「アートする」教育

2021 3.5|金|>3.6|土|>3.7|日|  
金沢 21世紀美術館 / オンライン

私たちは、今大会のテーマを「アートする」教育としました。あらゆる正統性や規範から自由になるための力、権力や抑圧に抵抗するための力、そして、勇気を育む領域がアート/芸術です。そうだとするならば、ことばによって新しい社会を創造することをめざす言語文化教育にこそ、アート/芸術の力が必要です。そして、言語文化教育がことばを学ぶことを通して、人々の自由を実現することをめざすなら、言語文化教育もまた一つのアートでなければなりません。

今、私たちは、人類の危機と向き合っています。この新型コロナウイルス感染症によって生み出された状況は、人々をあらゆる方法で分断していきます。国境によって、そして経済によって、信念によって、私たちの社会はより断絶を深めています。より合理的なものが評価され、あらゆる資本が持つものと持たざるものに分かれていきます。本当に恐れるべきものは疫病そのものではなく、人々が互いを分断し、創造性や自由を失っていくことにあるのではないのでしょうか。こうした人類の危機を救うための教育研究が今ほど求められている時はないかもしれません。

そこで、言語文化教育研究学会は「アートする」教育をテーマに、分断を乗り越え、人と人が出会い、話し合うことの意味を見つめ直し、新しい社会を創造する言論活動を展開したいと考えています。金沢21世紀美術館/オンラインという二つの場で、皆様をお待ちしています。

(企画担当: 松田真希子、嶋津百代、井本由紀、三代純平)

## 発表者募集

応募締切	2020年11月1日(日)
応募先	annual@alce.jp(年次大会委員会)
開催日程	2021年3月5日(金)、6日(土)、7日(日)
開催会場	金沢21世紀美術館: 一般公開トークセッション、ワークショップ オンライン(ZOOM): 大会シンポジウム、パネルセッション フォーラム、口頭発表
結果通知	12月下旬
応募資格	言語文化教育研究学会の会員であること
応募内容	言語・文化・教育に関わるもの(大会テーマ以外の内容も応募可能)
カテゴリー	パネルセッション(120分)、フォーラム(90分) 口頭発表(30分)、口頭発表(40分)
	* 今大会は、オンサイトとオンラインのハイブリッドでの開催となります。 詳細につきましては、学会ホームページをご確認ください。
応募方法詳細	<a href="http://alce.jp/annual/">http://alce.jp/annual/</a>
お問い合わせ	annual@alce.jp(年次大会委員会)

## 一般公開 トークセッション

金沢21世紀美術館  
5日(金)18:00-20:00

タイトル	抵抗の美学ー表現の自由のための我が実践(仮)
スピーカー	藤井光(美術家)、星野太(美学者) 鷺田めるろ(十和田市現代美術館館長)
モデレーター	松田真希子(金沢大学)

## 大会 シンポジウム

オンライン  
7日(日)10:00-12:30

タイトル	アートが拓くことばの教育の未来
シンポジスト	岩瀬直樹(軽井沢風越学園)、熊倉敬聡(元慶應義塾大学) 藤井光(美術家)、三澤一実(武蔵野美術大学)
モデレーター	嶋津百代(関西大学)